

要請番号 (JL50323A11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボツワナ	G182 小学校教育	20～45 歳のみ	グループ 型	新規	2年	・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・技術開発省

2) 配属機関名（日本語）

ントンペ・コマ小学校

3) 任地（セントラル県マハラペ） JICA事務所の所在地（ハボロネ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車 で 約 2.5 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

ントンペ・コマ小学校は、ボツワナ国の首都ハボロネから約200km離れたマハラペにある初等教育校である。1学年から7学年まで、約540名の児童が在籍しており、ボツワナ国が定める基礎教育課程を学んでいる。各学年3クラスずつ設置されており、各クラス30～35名程度の児童に対し授業を実施している。2021年の小学校卒業試験(PSLE)の合格率は58%であり、特に算数、理科の児童の学力向上が課題となっている。これまでにJICA海外協力隊の派遣実績はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ボツワナ国の初等教育課程は、該当する就学児童に対して無償で提供され、就学率も90%以上と他のサブサハラ地域の国と比べて高い。しかしながら国際数学・理科教育動向調査によれば、ボツワナ国の理科・算数の学力は国際標準の平均以下であり、大きな課題となっている。ボツワナ国の教育・技術開発省もこの課題について認識しており、JICA海外協力隊による児童への直接的指導、教職員への教授法指導、日本の教授法の紹介、教材作成などの活動が児童の学力向上に繋がることを期待し、当該校へのボランティア派遣の要請となった。小学校卒業試験(PSLE)の合格率が習熟度の指標となっており、各校で算出される数値が具体的な改善目標として掲げられている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と協力し、以下の活動を行う。

- 主に算数と理科の授業において補助的な役割を担う。(理科の実験補助を含む)
- 教材研究・指導案作成・授業準備の補助を行う。
- 適切な評価教材作成の補助を行う。
- 同僚に対し授業改善のための助言を行ったり、簡単なICT操作などについて補助をする。
- 地域のモデルスクールとして確立するための活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、イス

PCは学校に2台しかないため、隊員や生徒の使用は現時点では想定されていない。

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(女性)

教員(男女20名)

他サポートスタッフ(男女6名)

児童 約540名(男女)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭） （中学校又は高等学校教諭（数学））	[学歴]：（大卒）教育学 備考：同僚教師が大卒のため
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（指導経験）2年以上 備考：現場での指導を行うため （教員経験）3年以上 備考：クラス管理能力が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（0～40℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】

着任後、現地語学訓練(セツワナ語)を実施。